

授業実践のまとめ 小学校社会科3・4年班

- ・子どもの日常生活と社会の結びつきを実感させたい。
- ・地域で生活する人々の思いや知恵を知ってほしい。
- ・自分の考えをもって、話し合いさせたい。

- ・子どもの生活との結びつきを実感させながら、学習させたい。
- ・地域の人との関わりから思いを考させたい。
- ・学びあう、高めあう意見交流をさせたい。

- ・話し合い活動を通して、お互いに学び合う学習をさせたい。
- ・見学や体験を有効に活用した学習をさせたい。
- ・先人の働きが今の自分たちの生活と深い関わりがあることを実感させる学習をさせたい。

人・もの・ことから考える社会科授業づくり —実感を持って学ぶ地域素材の工夫—

人

- ・スーパーマーケットで働く人から工夫や苦勞を学ぶ。
- ・地域の方との関わりから地域と自分とのつながりに気づく。
- ・農業に従事する人から用水を考える

- ・インタビュー
- ・手紙
- ・ビデオ
- ・ゲストティーチャー

もの

- ・スーパーに並んでいる商品から販売の仕事学ぶ。
- ・実際に建っている建造物（工場・寺神社）から地域の歴史を学ぶ。
- ・水田、畑、用水から作った人の苦勞を学ぶ。

- ・写真資料
- ・ビデオ
- ・見学、体験



こと

- ・買い物体験から自分たちの生活を考える。
- ・行事や産業・伝統芸能から人々の思いや願いを学ぶ。
- ・用水ができた背景から人々の努力を学ぶ。

- ・見学
- ・体験
- ・資料



授業実践と参観から学んだこと

子どもに興味・関心を持たせる工夫

- ・児童自身が実際に見たり、聞いたりしたことをもとに課題をつくる。
- ・導入で視覚的に訴える資料の提示をする。
- ・授業のねらいや発問を子どもにとって理解しやすい言葉で伝える。（明確にする。）
- ・スマートボードなど、IT機器を有効に利用する。

資料の精選と活用

- ・既習事項などは、子どもが振り返ることができるように掲示しておくなど環境を整える。
- ・ねらいに適した資料を絞り込む
- ・児童の実態や生活に密着した資料を工夫する。
- ・既存のものだけではなく、必要な情報等をいれて作り上げる資料の工夫。

活発に交流し合う話し合い活動の工夫

- ・視点を明確にした発問や指示の徹底。
- ・課題意識や自分なりの考えをもって話し合いに参加させる。（ヒントカード・板書・ワークシートの工夫から）
- ・グループ構成の工夫（人数、役割など）
- ・日常的に、話し合い活動の方法や仕方を身につけさせる。

《授業実践校・授業者》

安中市立東横野小学校
桐生市立南小学校
沼田市立薄根小学校
特別支援研究グループ
義務教育研究グループ

大山 政人
金井 仁史
河合 潔
須田 雅人
飯沼 良夫

担当指導主事